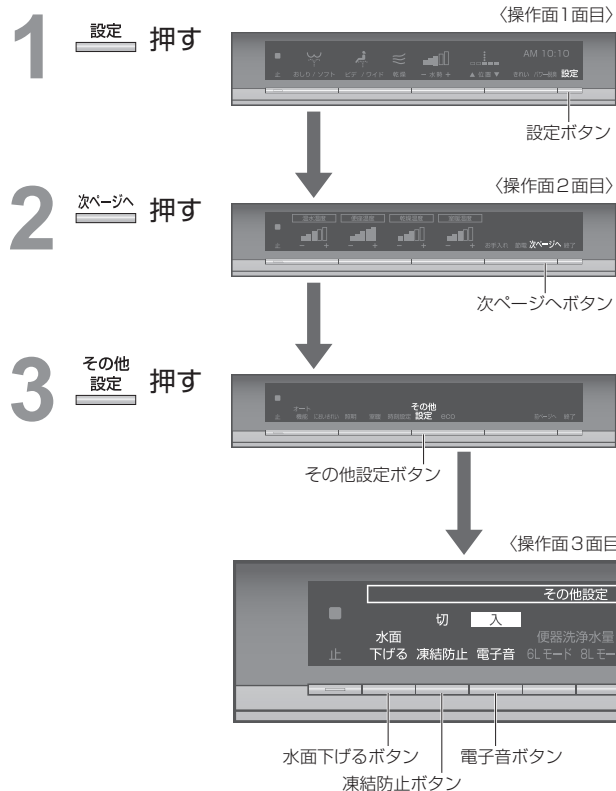


設定を変える

その他設定



便器の水たまり面を下げる
(水の跳ね返り低減や
検便のときなど)

水面下げる

4 水面下げる 押す

便器内の水が流れて低い水位でたまる

お知らせ

- ・検便時に使用するときには「オート便器洗浄」を「切」にしてください。(P.40)
- ・便器洗浄すると、通常の水面の高さに戻ります。水面を下げて使いたい場合に、都度設定してください。



水面下げるボタン

便器とウォシュレットの水を一定の間隔で
自動で流す

凍結防止

<「入」に設定する場合>

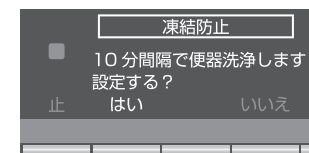
設定すると約10分間隔で便器洗浄して凍結を防止します。

4 凍結防止 押す

5 はい 押す



凍結防止ボタン



はいボタン



<「切」に設定する場合>

凍結防止 を押して「切」に設定してください。

電子音を
鳴らす/鳴らさない

電子音

4 電子音 押す

(押すたびに画面が切り替わる)

- 電子音を鳴らす → 「入」
- 電子音を鳴らさない → 「切」



電子音ボタン

こんなときは

凍結予防をするとき

外気温が0℃以下になるときは、凍結予防を行ってください。

・便器の種類によって凍結予防のしかたが異なります。便器の種類に合わせて、作業してください。

お願い

- ・外気温が0℃以下になるときは、節電しないでください。(製品が破損するおそれ)
- ・周囲の温度が0℃以下にならないよう、トイレ内を暖めるか、凍結予防を行ってください。
- ・作業前に、「オート便器洗浄」(P.40)「オートふた開閉」(P.42)を「切」にしてください。

流動方式

便器とウォシュレットの水を、一定の間隔で自動で流して、凍結を予防する方法です。

■設定のしかた (P.50)

- ・リモコンで「凍結防止」を「入」にしてください。

凍結防止中は、次のように作動します。

- ・「運転」ランプが点滅する
- ・約10分間隔で便器洗浄する
- ・約50mlの水が約5分間隔でノズル付近から出る(ノズルは収納したまま)



ヒーター付便器・水抜併用方式

1 水抜栓を操作して、給水を止める

お願い

- ・止水栓は開けたままにしておいてください。(製品内部の水が抜けずに凍結破損するおそれ)



2 ノズルきれいの操作を行う

① **きれい** 押す (操作面1面目)

② **ノズル きれい** 押す

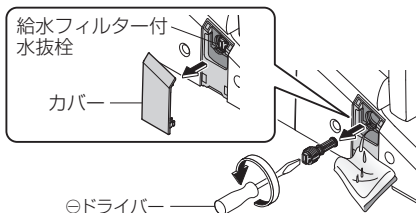
- ・ノズルカバーが開く(給水管の圧抜き)

3 電源プラグを抜く

4 配管の水を抜く

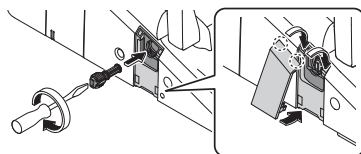
①カバー・給水フィルター付水抜栓を取りはずす

- ・給水フィルター付水抜栓を⊖ドライバーでゆるめたあと、引っ張る



②水抜きが終わったら、給水フィルター付水抜栓・カバーを取り付ける

- ・給水フィルター付水抜栓を押し込み、⊕ドライバーで確実に締める



5 電源プラグを差し込む

- ・「運転」ランプが点灯する

6 すっきりパネル(右)を取りはずす

7 タンクの水を抜く

- ・すっきりパネル裏面のラベル「タンク内水抜き作業手順」参照

8 便座温度を「高」にする (P.22)

- ・保温のため、作業後は便座・便ふたを閉めておく

■再度ウォシュレットをお使いになるときは
・再通水が必要です。(P.63)

お知らせ

- ・ヒーター付便器は室温が5℃以下になると自動でヒーターが入ります。
- ・凍結のおそれがないときは、ヒーター付便器の電源プラグを抜いておいてください。

長期間使わないとき

別荘などのトイレを長期間使わないときは、水抜きをしてください。

(タンク内の水が腐敗して皮膚の炎症などをおこす原因)

(凍結して製品破損などをおこす原因)

❖注意 ・「お掃除リフト」(P.32)で本体が上がった状態での水抜きはしないでください。

水抜きのしかた

1 ■流動方式のとき
止水栓または元栓を閉める (P.4)

■ヒーター付便器・水抜併用方式のとき
水抜栓を操作して、給水を止める (P.62手順①)

❖お願い ・止水栓は開けたままにしておいてください。

2 **流す大** を押してタンクの水を抜く※1

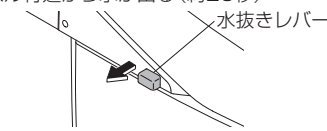
3 ノズルきれいの操作を行う (P.62手順②)

4 電源プラグを抜く

5 配管の水を抜く(P.62手順④)

6 水抜きレバーを引き出す

- ・ノズル付近から水が出る(約20秒)



7 手を離し、水抜きレバーを元に戻す

8 ■ヒーター付便器・水抜併用方式のみ
便器内のタンクの水を抜く

- ・すっきりパネル裏面のラベル「タンク内水抜き作業手順」参照

■凍結のおそれがあるときは

- ・便器のたまり水(封水)に不凍液を入れるなどして凍結しないようにしてください。(不凍液はそのまま流さず、使用前に回収し、廃棄処分してください。)

■再度ウォシュレットをお使いになるときは

- ・再通水が必要です。(下記)

再通水のしかた

1 止水栓または元栓を開ける、または、水抜栓を操作して、給水する

- ・配管やウォシュレット本体から水漏れしていないことを確認する

2 電源プラグをコンセントに差し込む

- ・「運転」ランプが点灯する

3 ①ノズルから水を出す

- (1) 便座の左側を押したまま、
- (2) リモコンの「おしり」ボタンを押して、ノズルから水を出す
・水は紙コップなどで受けてください。
- (3) リモコンの「止」ボタンを押す

② **流す大** を押す※1

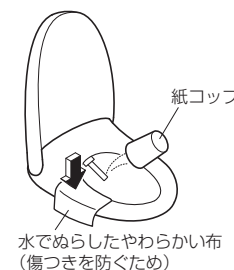
- ・便器に水を流しながらタンクに給水します。ウォシュレット本体表示部のランプが点滅し、給水が完了すると点灯に変わります(最大約80秒)。

※給水が完了するまで便器洗浄できません。タンク給水中はすべての操作をしないでください。

■残水が凍結して水が出ないとき

- ・トイレ内を暖め、お湯に浸した布で給水ホースと止水栓を温める

4 便器に水がたまってから、もう一度 **流す大** を押す※1



水でぬらしたやわらかい布(傷つきを防ぐため)

必要なとき

※1 「便ふた閉止後洗浄モード」を「入」に設定しているとき、便ふたが閉まったあと便器洗浄します。